

関西俳優協議会後継者育成事業

主催：
関西俳優協議会
(財)吹田市文化振興事業団

中国話劇

作○老舎
演出○田中弘史

茶館

CHAKAN

清朝末期から五十年、政治に翻弄される庶民の悲哀を描いた
中国話劇の父『老舎』作品の金字塔が十七年ぶりに甦る

2012 / 3.23 [金] ~ 25 [日]



吹田市文化会館 (阪急吹田駅前)

メイシアター 中ホール

中国話劇 茶館

CHAKAN

第一幕

中国清王朝末期、列強の侵略が激化を極め、八カ国連合軍が北京に侵攻し圓明園を焼き払い、西太后は西安に逃亡した。民衆は長年の失政と腐敗の中で、言論の自由も無く、経済的にも瀕死の淵に追いやられ、塗炭の苦しみを味わっている。

裕泰大茶館のあるじ王利発は時代と調子に合わせていく才能があり、店は大繁盛していた。今日も店内には、人相見だの、女術だの、用心棒だの、私服刑事だのと、喧しい。店内には「政治の話はご遠慮願います」の赤い張り紙が貼られている。

常連客の常は女術の劉に不満をぶつけ、貧しい田舎者の母娘にうどんを食わせたりするうちに、「清王朝はもうおしまいな」と口を滑らせる。さらに救国の意欲に燃える茶館の大家・維新派の秦と口論し、劉に逢いにきた宦官にもきわどい言葉を投げかけ、居合わせた私服警官たちに引き立てられてしまう。

騒ぎのすぐ後に百姓の娘康順子が父親に連れて来られ、劉の手で宦官の嫁に売られてゆく。その値段はたったの十兩であった。

第一幕

■時 ……一九一八年頃初夏
■場所 ……北京 裕泰大茶館

■時 ……一九一八年頃初夏
■場所 ……北京 裕泰大茶館

茶館の時代背景と用語解説

旗人 (きじん)

清代に満州人は旗と呼ばれる支配階級が所属した社会・軍事組織である八旗 (はつき) に配属された者を総称し、清の支配階級を構成した。

八路 (パーロ) 軍

日中戦争時に東北方面で活躍した中国共産党軍 (紅軍) の通称である。1937年8月、中国工農紅軍が国民革命軍第八路軍として国民政府指揮下に編入させたことからこの名称で呼ばれた。のちに、国民革命軍第十八集団軍と改称されたが「八路軍」の呼称は残った。現在の中国人民解放軍の前身のひとつ。

三皇道教 (さんこうどうきょう)

中国の三大宗教 (儒教・仏教・道教) は中国人民の社会生活、文化生活、家庭生活に影響を与えてきた。道教は漢民族の宗教であり、2世紀前後の後漢時代に出現し、千八百年あまりの歴史を持ち、日本、朝鮮、ベトナムなどの文化にも影響を与えた。

(ウィキペディアより)

スタッフ/協力

作	老	舎
演出	田中	弘史
美術	板坂	晋治
照明	染川	充成
音響効果	藤原	祐子
演出補	筒井	庸助
演出助手	河上	幸代
宣伝美術	橋本	満彦
舞台監督	三浪	郁二
大道具	劇団	往来
衣裳・小道具	松竹	衣裳
結髪	片山	盛雄
監修	須永	克彦
制作	尾崎	磨基

主催：関西俳優協議会
(財)吹田市文化振興事業団
協力：関西芸能マネージャー協会
舞夢プロ

 劉 麻子/倅 下元 年世	 松 二爺 田中 弘史	 常 四爺 竹橋 団	 秦 仲義 楠 年明	 王 利発 芝本 正
 給 仕 中谷 昌代	 老 婆 都築 俊	 村 婦 万代 良重	 王 大栓 白川 明彦	 康 大六 小寺 弘之
 学 生 財津 弘子	 下宿人/春梅 小継 梨紗	 学 生 森田 有美	 学 生 垣尾 麻美	 学 生 可貴 淳子
 四夫人の用心棒 いつとん君	 兵 隊 吉田 浩之	 聖書売り 山岡 一海	 兵 隊 滝口 豪士	 兵 隊 永井 翔也
 黄 胖子 大橋 壮多	 大サー楊 高木 宏	 客 伝法三千雄	 客 芳川 雅勇	 龐太監 西山 辰夫

ていた。

北京じゅうの茶館が姿を消す中、裕泰のあるじは才覚を働かせ、裏を下宿屋に改装し表も時代に合わせて新装中であつた。折しも遠くから号砲が鳴り響き、騒然とした街中に避難民が溢れ出す。お巡りがやって来て追い払うが、なんと兵糧徴発のお達し。袖の下で難を避けようと目論んでいると、今度は荒くれの兵隊達が銀貨をよこせと凄みだす始末。常も松も落ちぶれているが、開店祝いに顔を覗かせた。そんな中、人相見の唐だけは羽振りがいい。時代が悪ければ悪いほど民衆は占いに頼るしかないのだ。

宦官に買われていった康順子は、宦官の死後、その甥達に追い出され、義理の息子・大力を連れて茶館に転がり込んで来る。女術の劉は特務の警官に賄路を出し渋ったのを理由に、脱走兵の汚名を着せられ、往來の真ん中で斬り殺されてしまうのだった。

第三幕

■時：一九四八年頃 秋
■場所：北京 裕泰大茶館

さらに三十年の歳月が流れ、裕泰大茶館は昔の面影もなく荒れ果ててしまった。

抗日戦争に勝利したものの、物価は目を追う毎に高くなり、民衆は以前にも増して貧困に喘いでいた。教師や学生達が主導する抗議運動が盛んになり、ゲリラ地区に脱走していく者が後を絶たない。すっかり老け込んだ茶館のあるじ。気がつけば出入りの客達も代替りして、二代目がそれぞれ後を継いでいるようだ。

教師のストライキを煽動している康順子の義理の息子・大力が、北京に潜入してきて、一緒にゲリラ地区に逃げようという。そんな折、女術の劉の二代目が店を乗っ取るうと、女給として丁宝を送り込んで来た。

人相見の唐の倅は、新興宗教の興趣夫妻と結託し、八路軍を倒して玉座に就こうという野望を持っていた。時代の荒波に翻弄される茶館は風前の灯火である。あるじの息子家族の三人も、康順子の後を追って脱出していく。

騒ぎがおさまった茶館に秦と常が現れ、あるじを含めた三人の老人が生涯を嘆き合う。それぞれに国を愛し、家族を愛し、懸命に生きて来た末路がこれなのかと…。

 王小花 河西なつ実	 周秀花 齊藤幸恵	 王淑芬 里吉萌亜	 康順子 生田朗子	 吳祥子/倅 鍋島浩	 宋恩子/倅 要冷蔵	 二徳子/倅 南条好輝	 唐鉄嘴/倅 多賀勝一
 学生 岡村理恵子	 売られる娘 いちえ	 康大力 村上佳子	 新聞売り 伊能努	 士官 永田哲也	 長官 柳沼周平	 鄭福遠 藤島淳一	 衛福喜 鎌田圭司
 あばた子分 藤原孝二	 給仕/あばた子分 井上聡	 電気料金徴収人 岩井由詠	 下宿人 maguma	 小牛児 蒼羽莉伊奈	 小娘 森田ゆかり	 難民の娘 宮田和美	 学生 久田優衣
 客 安田勝子	 客 大倉美佐	 八百屋のおかみ 高瀬一代	 難民の母 森千紗花	 四夫人の用心棒 空田浩志	 客 木下堯智	 巡查 久井清	 兵隊 横岡祐太
 四夫人 三島ゆり子	 丁宝 紅萬子	 林 あいはらたかし	 陳 眞田実	 李三 福田善晴	 崔久峰 浮田孝明	 馬五爺 朝日完記	

本日はお忙しい中、ご来場賜り厚く御礼申し上げます。

今公演を主催しております関西俳優協議会（関俳協）は、四十五年の歴史を持つ関西で唯一、専門（プロ）俳優が組織する集団です。関西の芸術文化の停滞が叫ばれて久しいのですが、最近数年間、私達関西俳優協議会では、其の状況を打ち破れるかも知れない動きが続いています。

各種のセミナーを開いて、主に若手俳優の技術の習得を目指すのを始めとして、年間を通じて優秀新人の発掘、顕彰、劇団やプロダクションの垣根を取り払って、広く関西の俳優が集まり、良質の演劇を創る試みも回数を重ねています。

関俳協が取り組んでおります後継者育成事業も六年目を迎えました。

今回の出演者オーディションにも、五十人を超える若者が参加しました。

ベテラン俳優と四ツに組んでお芝居を続ける事で、彼等は日に日に大きくなっていく気がします。大きく育って、関西の演劇界をリードするであろう彼等に、ご理解と、ご支援をお願いする次第です。

今回も関西のベテラン・中堅・新人俳優総勢六十四名を結集させ「優秀演技賞受賞者研鑽発表公演」と題し、中国話劇の父と呼ばれる老舎の作品「茶館」を総力をあげて上演いたします。

どうぞ、最後までごゆっくりご観劇ください。

関西俳優協議会 会長

田中 弘史

関西俳優協議会加盟団体

劇団アルファ

MC企画

劇団往来

大阪放送劇団

オフィス高宮

オフィスビッグ

関西芸術座

(劇)COLORS

キャッチ

K's倶楽部

Kpp

劇団京芸

人形劇団クラルテ

コスミックシアター

劇団五期会

古典座

劇団しし座

演劇集団芝居小舎

STAR★JACKS

摂河泉21

道化座

ドラマックス

チェリッシュ

劇団潮流

鳥プロ

ビックワンウエスト

劇団ぼうふら

舞夢プロ

劇団未来座

アカデミー近松劇場

スターマップ

フリークラブ

PRE. Performers' Rights Entrustment

PRE(プレ)は実演家の著作隣接権と肖像権の権利処理を行い、二次使用料の分配実務を適切・公平に行います。

一般社団法人

映像実演権利者合同機構 [略称 PRE=プレ]

代表理事 浅原 恒男

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-14-6 御苑ビル 4F

TEL.03-5312-6658 FEX.03-5312-6659

URL:www.pre.gr.jp

【社員団体】

社団法人 日本俳優協会

社団法人 能楽協会

社団法人 日本映画俳優協会

社団法人 日本喜劇人協会

社団法人 日本劇団協議会

日本新劇俳優協会

協同組合 日本俳優連合

名古屋放送芸能家協議会

関西俳優協議会

日本人形劇人協会

一般社団法人

日本芸能マネージメント

事業者協会

一般社団法人

日本モデルエージェンシー協会

関西俳優協議会

〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島 6-1-1 大栄ビル 3F

TEL 06-6458-6953 FAX 06-6458-6934

URL <http://www007.upp.so.net.ne.jp/kanpaikyou/>